

入札公告

平成26年9月30日

独立行政法人労働安全衛生総合研究所
理事長 小川 康 恭

1 競争入札に付する事項

(1) 件名及び数量

「労働安全衛生総合研究所 登戸地区機器分析室改修工事」 一式

(2) 概要

詳細については、仕様書による。

2 競争参加資格に関する事項

(1) 契約を締結する能力を有しないと認められる者又は破産者で復権を得ていない者でないこと。ただし、未成年者、被保佐人又は被補助者であって、契約締結のために必要な同意を得ている者はこの限りではない。

(2) 以下の一に該当すると認められる場合は、その事実があった後2年間を経過している者であること。なお、これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者についても同様とする。

① 契約の履行に当たり故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者。

② 公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し若しくは不正な利益を得るために連合した者。

③ 落札者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者。

④ 監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げた者。

⑤ 正当な理由が無くて契約を履行しなかった者。

⑥ ①～⑤の一に該当する事実があった後2年間を経過しない者を、契約の履行に当たり、代理人、支配人その他使用人として使用した者。

(3) 競争参加資格については、平成25・26年度の厚生労働省競争参加資格を準用するものとし、同資格の「管工事」において、A、B、C又はD等級に格付けされ、関東・甲信越地域の競争参加資格を有する者であること。

(4) 過去5カ年において、研究施設（公・民間問わず）や大学等の機関において当該工事と同種の工事を実施した経験を有すること。

(5) 官庁から指名停止を受けている期間に該当しない者。

(6) 下記3の期間内に現場確認を行った者。

(7) 上記(3)(4)の事実を確認するため、当該事実を証明する資料（写し可）を、以下の宛先・期日により提出することとする。

宛先 独立行政法人労働安全衛生総合研究所 総務課経理第二係
期日 平成26年10月23日（木）12：00

3 現場確認

入札に参加する者は、現場確認を行うこと。現場確認は以下の日程で受け付ける。

現場確認を希望する場合、電話にて事前に日程調整をすること。

日時 入札公告掲載日から平成26年10月23日（木）の間の月、火、水、木曜日
ただし10時から12時、13時から17時までの間とする

場所 神奈川県川崎市多摩区長尾6-21-1

独立行政法人労働安全衛生総合研究所総務課経理第二係
電話：044-865-6111（代表）

4 入札書の提出

入札書は郵送又は持参により受け付ける。

ただし、郵送する場合には書留郵便等の配達記録が残るもので開札日（平成26年

10月30日)の11時までに必着のこと。

郵送先 〒214-8585 神奈川県川崎市多摩区长尾6-21-1
独立行政法人労働安全衛生総合研究所 総務課経理第二係

5 入札及び開札の日時、場所

入札開札は、当法人の入札業務に携わらない職員立ち会いのもと、下記日時にて執り行い、開札後速やかに結果を連絡するものとする。

日 時 平成26年10月30日(木) 14時00分

場 所 〒214-8585 神奈川県川崎市多摩区长尾6-21-1
独立行政法人労働安全衛生総合研究所 総務課経理第二係

※ 開札に立ち会わない者に対しては、FAXにて開札結果を知らせるものとする。

6 その他

(1) 入札保証金に関する事項

入札保証金の納付を免除する。

(2) 入札の無効

上記2に示した競争参加資格を有しない者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は、これを無効とする。

(3) 契約書作成の要否

要

(4) 契約に係る情報の公表に関する事項

独立行政法人が行う契約については、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)において、独立行政法人と一定の関係を有する法人と契約をする場合には、当該法人への再就職の状況、当該法人との間の取引等の状況について情報を公開するなどの取組を進めるとされているところである。

これに基づき、別紙のとおり、当研究所との関係に係る情報を当研究所のホームページで公表することとしますので、所要の情報の当方への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくよう御理解と御協力をお願いいたします。

なお、案件への応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了承ください。

以 上

<独立行政法人の契約に係る情報の公表>

独立行政法人が行う契約については、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)において、独立行政法人と一定の関係を有する法人と契約をする場合には、当該法人への再就職の状況、当該法人との間の取引等の状況について情報を公開するなどの取組を進めるとされているところです。

これに基づき、以下のとおり、当研究所との関係に係る情報を当研究所のホームページで公表することとしますので、所要の情報の当方への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくよう御理解と御協力をお願いいたします。

なお、案件への応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了承ください。

(1) 公表の対象となる契約先

次のいずれにも該当する契約先

- ① 当研究所において役員を経験した者(役員経験者)が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者(課長相当職以上経験者)が役員、顧問等として再就職していること
- ② 当研究所との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること

※ 予定価格が一定の金額を超えない契約や光熱水費の支出に係る契約等は対象外

(2) 公表する情報

上記に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表します。

- ① 当研究所の役員経験者及び課長相当職以上経験者(当研究所OB)の人数、職名及び当研究所における最終職名
- ② 当研究所との間の取引高
- ③ 総売上高又は事業収入に占める当研究所との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当方に提供していただく情報

- ① 契約締結日時点で在職している当研究所OBに係る情報(人数、現在の職名及び当研究所における最終職名等)
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当研究所との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内(4月に締結した契約については原則として93日以内)

(5) その他

応札若しくは応募又は契約の締結を行ったにもかかわらず情報提供等の協力をしていただけない相手方については、その名称等を公表させていただくことがあり得ますので、ご了承ください。

入札説明書

1 競争入札に付する事項

(1) 件名及び予定数量

「労働安全衛生総合研究所 登戸地区機器分析室改修工事」 一式
別添仕様書参照のこと

(2) 完成期限

平成27年3月31日（火）

2 入札心得

(1) 入札価格は、仕様書に基づいて算出した価格により入札を行う。

(2) 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額をもって、当法人の規程に定めるところにより予定価格の制限の範囲内で申し込みをした者のうち最低価格の入札者を落札者とする。

※入札書の金額は消費税込みの額を記載すること。

なお、契約担当者がその者により当該契約の内容に適した履行がなされないおそれがあると認めるときは、当法人の規程に定めるところにより予定価格の制限の範囲内で申し込みをした他の者のうち最低価格の入札者を落札者とするができる。

(3) 入札書の様式は別添様式とする。

(4) 入札書の宛名は、「独立行政法人労働安全衛生総合研究所理事長」宛とすること。

(5) 入札書には、社名及び代表者名の記入、社印及び代表者印を押印すること。

(6) 代表者以外の者が入札する場合は、委任状を持参すること。

(7) 入札書における金額訂正は行わないこと。

(8) 入札の最低価格が予定価格を超えている場合はその場で再度入札を行うので、そのための入札書を用意すること。

なお、郵送による入札の場合には再度入札には参加できない。

3 入札者に求められる義務

(1) この入札に参加を希望する者は、入札公告2（3）の競争参加資格を有することを証明する書類（競争参加資格の写し）及び同2（4）の同種の工事を実施した実績等を証明する書類（契約書・仕様書等の写し）を平成26年10月23日（木）12時までに提出しなければならない。

(2) この入札に参加を希望する者は、入札公告3のとおり現場確認を行うこと。

4 その他

質問書は、事前に総務課経理第二係に電話連絡の上、平成26年10月23日（木）

正午必着で持参又は郵便・FAXで送付すること。

独立行政法人労働安全衛生総合研究所 総務課経理第二係

TEL 044-865-6111

FAX 044-865-6116

以 上

平成 年 月 日

入 札 書

独立行政法人 労働安全衛生総合研究所
理事長 殿

住 所
名 称
代表者名

件名
労働安全衛生総合研究所 登戸地区機器分析室改修工事 一式

本件につき、下記の金額にて入札いたします。

記

入札金額

十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
			,			,			

(税込)

(担当者氏名)

(TEL)

(FAX)

労働安全衛生総合研究所 登戸地区機器分析室改修工事 仕様書

1. 工事名称

労働安全衛生総合研究所 登戸地区機器分析室改修工事

2. 工事項目

(1) 実験室区域内を外部より陽圧とする空調設備機器の設置	3基
(2) 外気導入空気中の粉じん処理用フィルターユニット	3基
(3) 有害ガス除去用活性炭フィルターユニット (ファン組込)	1基
(4) 有害ガス除去用活性炭フィルターユニット (ファン外置)	1基
(5) 排熱ファン及びフード (2箇所)	1台
(6) 有害ガス除去用活性炭フィルターユニット及び排気ファン	1式
(7) 原子吸光装置排熱用ダクト及び排熱ファン	1式
(8) 原子吸光装置清浄空気供給装置 (フィルターユニット及び給気ファンユニット)	1式

3. 機器の仕様及び構成

- (1) 実験室区域内を陽圧にする為、外気処理空調機1台(屋外用)を外部に設置し、定風量の外気を流入する定風量装置をダクトと外気処理用空調機(室内用)との間に設置する。
- (2) 外気中の粉じんを除去するための外気処理フィルターユニットをダクトと外気処理用空調機(室内用)との間に設置する。
- (3) 実験機器2か所より発生する熱風(チャンバー内300℃)を捕集し屋外に排出する。
- (4) 実験機器2か所より有害ガスが発生、内一か所は秤量する際に発生する有害ガスを捕集し、屋外で処理・放出する。
- (5) 原子吸光装置より発生する、熱を捕集し屋外に排気する。また、室内の空気中の粉じんをHEPAフィルター等にて除塵し、装置上部に供給する。
- (6) 上記に伴う機器の運転操作の為の操作盤及び二次側配管配線工事。

4. 仕様図面

別添「労働安全衛生総合研究所機器分析室 改修工事設計図」による。

5. その他

- (1) 作業する部屋の順番は、研究の都合でランダムになる。
- (2) 工事に依る備品の破損、研究の中断等が発生した場合は損害を補償すること。

- (3) 騒音作業の場所と時間は研究の内容により制限が生ずる。
- (4) 機器等の撤去材の廃棄処分は全て本工事とする。
- (5) 機器撤去更新時の養生等に対する条件を下記とする。
 - ① 室内を施工区域とそれ以外の区域に仕切りを設け区分すること。また、資材は清潔なものを使用すること。
 - ② 上記の仕切取付、取外時は室内をビニールにて養生するなどの埃が舞い上がらない対策をして施工すること。
 - ③ 作業区域の床に傷を付けないこと。
 - ④ 研究用の備品は小さいものを除き、原則として移動できないので十分な養生を行うこと。特に顕微鏡等はコンパネ等で覆う養生を行うこと。

労働安全衛生総合研究所機器分析室

改修工事設計図

番号	名称	縮尺
	図面リスト	A3 : N,S
M - 01	特記仕様書	A3 : N,S
M - 02	改修機器表	A3 : N,S
M - 03	研究本館3階改修平面図	A3 : N,S
M - 04	研究本館4階改修平面図	A3:1/100
M - 05	研究本館動力制御盤負荷表	A3 : N,S
M - 06	研究本館動力設備3・4階改修平面図	A3:1/100

改修機器表

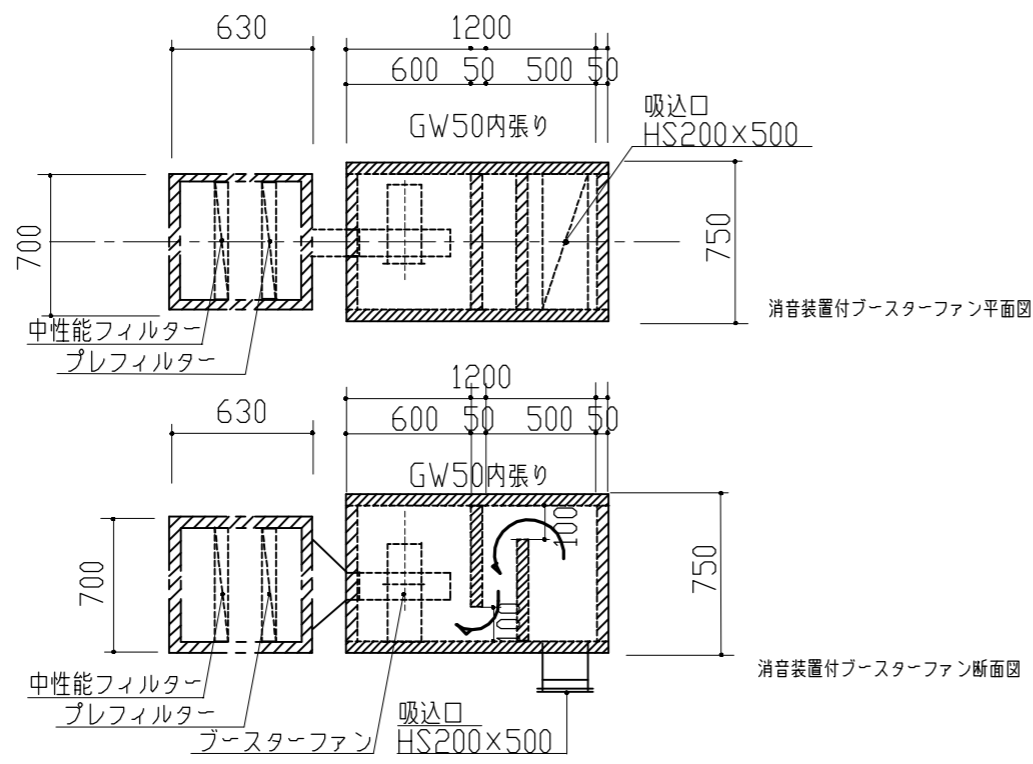
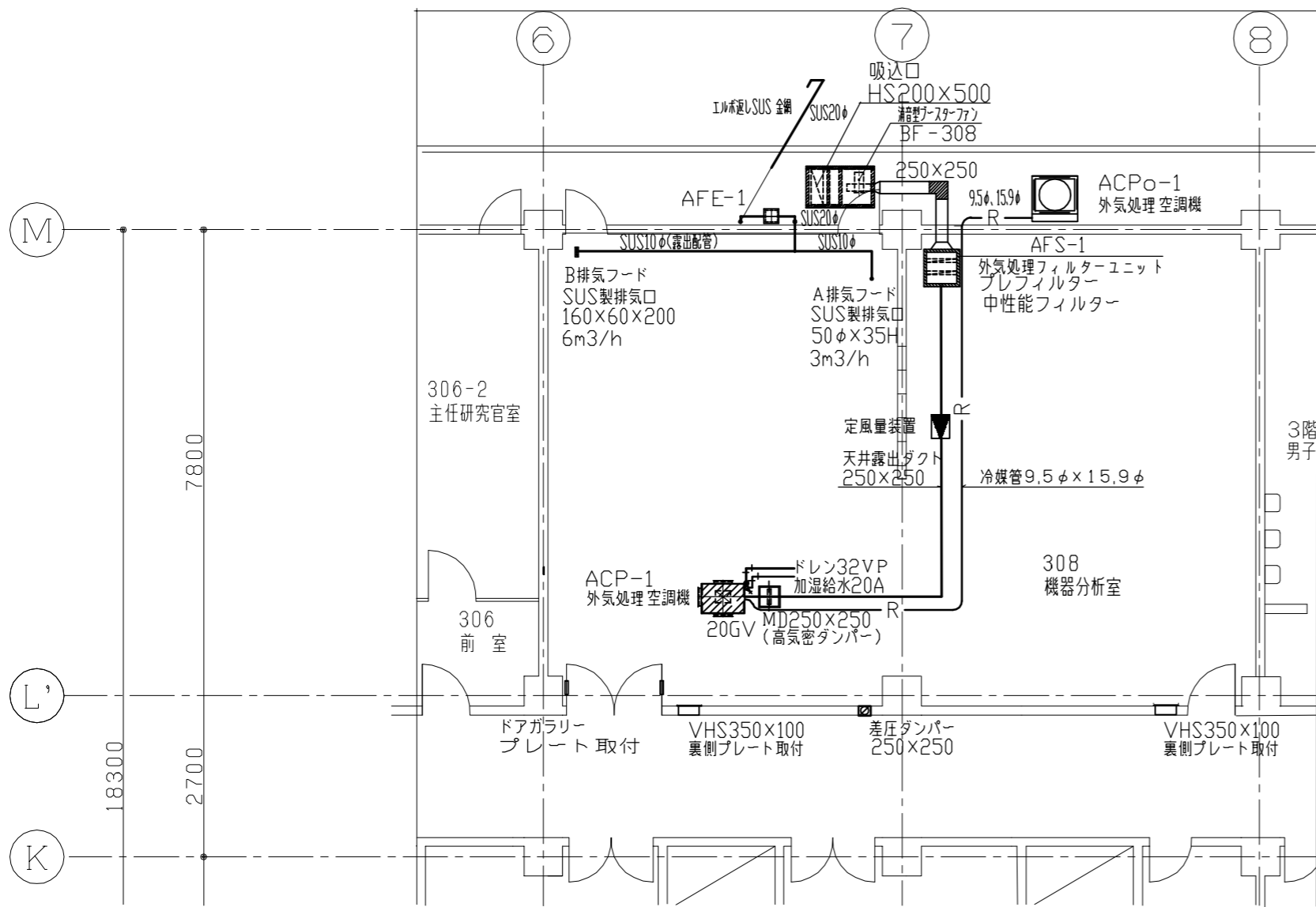
(注) 記載事項の適用について、●印の付いたものを適用する。

機 器 名 称	排風機記号	形 式	材 質	仕 様			電 動 機			台 数	備 考	
				設置方法	呼称	m ³ /h	静圧Pa	相	V			kW
ブースターファン	BF-308	消音形小型片吸込シロッコファン		天吊り形	井5	1080	600	3	200	0.75	1	
ブースターファン	BF-416	消音形小型片吸込シロッコファン		天吊り形	井5	1080	600	3	200	0.75	1	
ブースターファン	BF-421	消音形小型片吸込シロッコファン		天吊り形	井5	1080	600	3	200	0.75	1	
実験室熱排風機	EF-416-1	片吸込シロッコファン ケーシング-アルミ鋳鋼製、羽根車-鉄製		天吊り形		590	170	3	200	0.4	1	416機器分析室熱排気
実験室有機ガス排風機	EF-416-2	片吸込シロッコファン ステンレス製		天吊り形		710	700	3	200	0.4	1	416機器分析室有機溶剤排気
実験室有機ガス排風機	EF-421	片吸込シロッコファン ステンレス製天吊型		天吊り形		540	400	3	200	0.4	1	421原子吸光分析室熱排気

記 号	形 式	風 量 (m ³ /h)	初期抵抗 (Pa)以下	平均捕集率 %以上	電 動 機			台 数	系 統	備 考
					相	V	kW			
AFE-1	排気ファン組込形活性炭フィルターユニット(屋外床置き) 材 質: SUS304 1.2t 370×320×400H 足部350H (足部に排気ファン内蔵) 寸 法: 活性炭フィルター 270×250×100t 1段	9	200		3	200	0.1	1	308機器分析室排気系統	1. ろ材の予備は100%とする(パネル形は枠共). 2. 空調機用送風機とのインターロック用端子を設ける(折込形は除く). 3. 最小断面平均通過風速は2.5m/s以下とする. 4. 差圧計付とする.
AFE-2	排気ファン組込形活性炭フィルターユニット(屋外床置き) 材 質: SUS304 1.2t 1050×550×650H 足部350H 寸 法: 活性炭フィルター 450×500×100t 2段	230			3	200	0.4	1	416機器分析室排気系統	
AFS-1	外気処理フィルターユニット(天井吊型)ファン組込みチャンバー共 材 質: 鋼板製 1500(760+740)×600×650H フィルター: プレフィルター 500×500×20t 捕集効率57% 中性能フィルター 500×500×60t 捕集効率90%							3	308機器分析室給気 416機器分析室給気 421原子吸光分析室給気	
AFS-2	循環ファン組込形HEPAフィルターユニット(屋内床置き) 材 質: ステンレス製 710×710×1600 フィルター: 中性能フィルター 610×610×150t HEPAフィルター 610×610×150t	1600			3	200	1.5		421原子吸光分析室循環系統	

記 号	形 式	設置形式	送風形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	COP	風 量 (m ³ /h)	圧 縮 機			送風機(室外)			冷媒管長さ (約 m)	台 数	備 考
								相	V	kW	相	V	kW			
ACP0-1	外気処理空調機 屋外機	床置き型	—	14.0	10.7	—	7140	3	200	2.6	3	200	0.3	1	1. 暖房能力には補助加熱器の加熱能力を含む. 2. 圧縮機は(○室内形 ●屋外形)とする. 3. 冷房能力及び暖房能力は JISB8616 による. 4. 冷媒はオゾン層破壊係数 0 のものとする. 5. 電気ヒーター及び加湿器を組込む場合は送風機とインターロックする. 6. 屋内、屋外ユニット周囲の電気配線(アース共)の仕様は製造者の標準仕様とし、付属とする. 7. 冷媒配管の口径は製造者の標準とする. 8. 進相コンデンサー(○不要 ●要) 9. 運転時間表示用端子(●不要 ○要) 10. 屋内ユニットの基礎は(●標準基礎 ○)とする ただし圧縮機屋外形は不要とする. 11. 屋外ユニットの基礎は(○標準基礎 ●防振基礎)とする. 12. COP: 一次エネルギー換算成績係数 13. リモコンスイッチ(○ワイヤード(配線共) ●ワイヤレス) は機器付属品とする。(室内機床置き形を除く)	
ACP0-2	外気処理空調機 屋外機	床置き型	—	14.0	10.7	—	7140	3	200	2.6	3	200	0.3	1		
ACP0-3	外気処理空調機 屋外機	床置き型	—	14.0	10.7	—	7140	3	200	2.6	3	200	0.3	1		
記 号	形 式	設置形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	風 量 (m ³ /h)	機外静圧 (Pa)	有効加湿量 (kg/h)	加 湿			送風機(室内)			台 数		
方式	L/H	相	V	kW												
ACP-1	外気処理空調機 308機器分析室内機	床置き型	14.0	10.7	1080	145	—	気化式	4	3	200	0.75	1			
ACP-2	外気処理空調機 416機器分析室内機	床置き型	14.0	10.7	1080	145	—	気化式	4	3	200	0.75	1			
ACP-3	外気処理空調機 421原子吸光分析室内機	床置き型	14.0	10.7	1080	145	—	気化式	4	3	200	0.75	1			

CORRECT		P. NAME	労働安全衛生研究所機器分析室改修工事設計図	
2		DATE	H26.08.30	W. NAME 換気設備
3		CHECK	S. NAME	改修機器表
4		DRAW	SCALE	A3 : N, S
5				S. NO M-02
6				



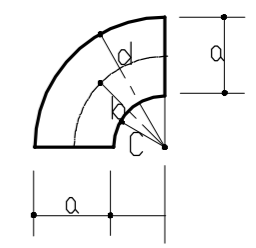
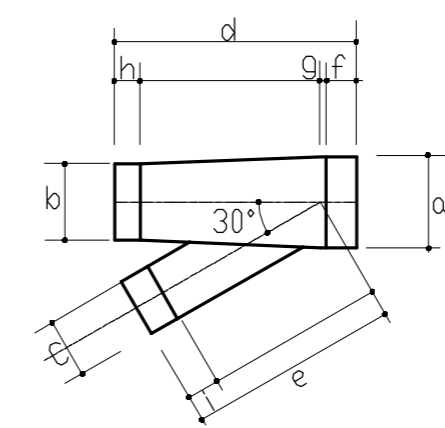
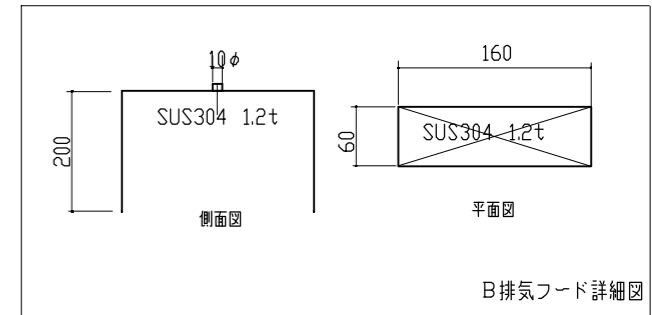
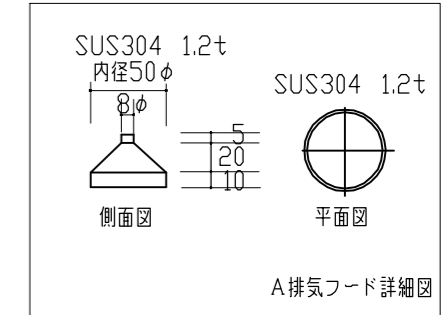
308 機器分析室
空調機給気チャンバー
710×480×500
GW25mm内貼り

308 機器分析室
吹出口
VHS300×150
Q=360m³/h ×3

308 機器分析室
ドアガラリ
裏側プレート取付
300×200 ×2

308 機器分析室
吹出口
裏側プレート取付
VHS350×100 ×2

308 機器分析室
定風量装置(CAV)
電気式
1080 m³/h



	主管	分岐管	a	b	c	d	e	f	g	h	i
分岐管	175φ×150φ	125φ	175φ	150φ	125φ	450	450	50	30	50	50
	150φ×125φ	100φ	150φ	125φ	100φ	400	350	50	10	50	50
	150φ×100φ	100φ	150φ	100φ	100φ	350	500	50	30	50	50
ベント管	150φ	--	150φ	180	105	255	--	--	--	--	--
	125φ	--	125φ	150	87.5	212.5	--	--	--	--	--
	100φ	--	100φ	120	70	170	--	--	--	--	--

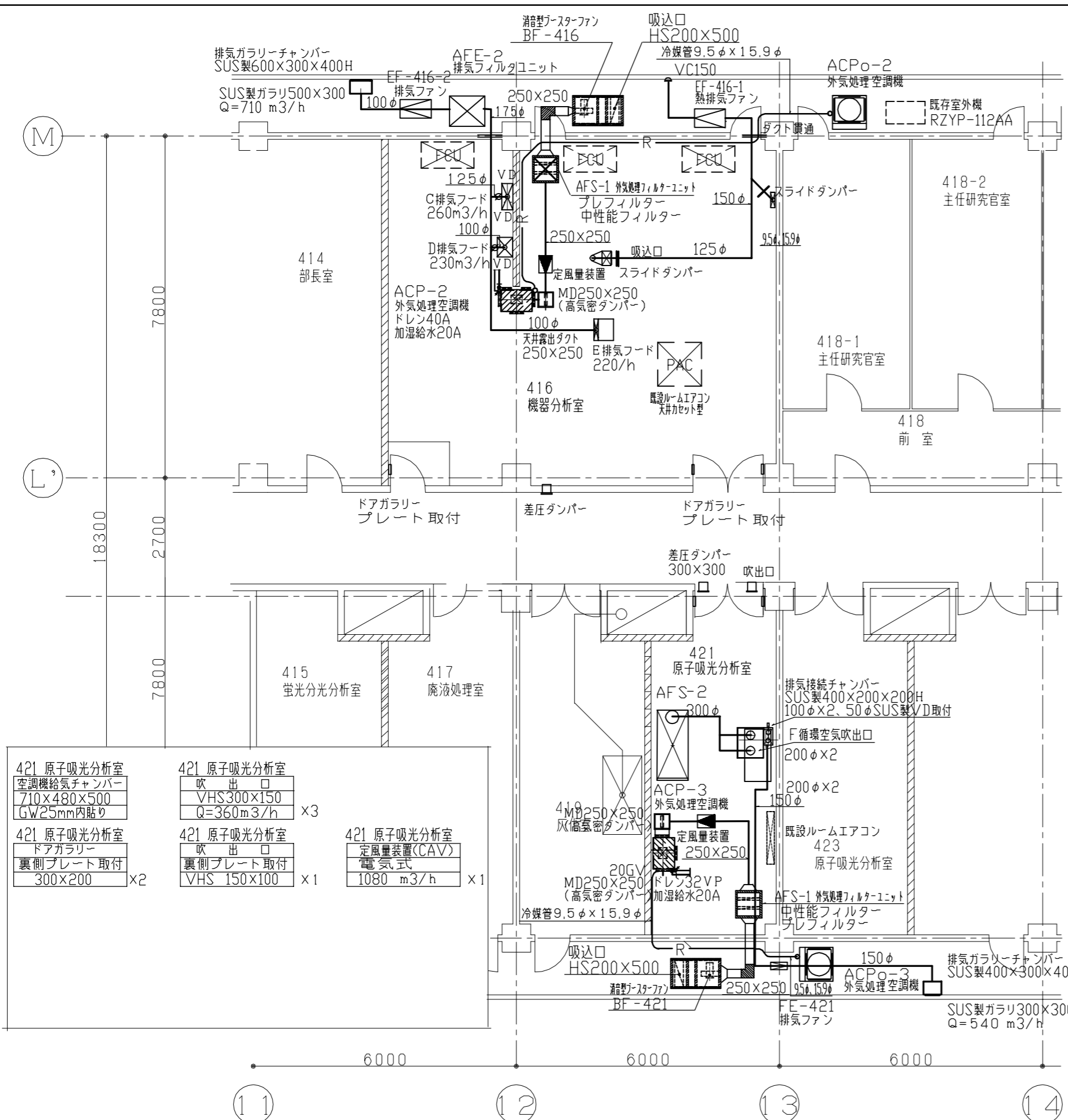
熱排気,有機溶剤排気ダクト曲管、合流管部材寸法

研究本館 3階改修平面図

※加温給水20A、ドレン配管40A直近実験流しに接続

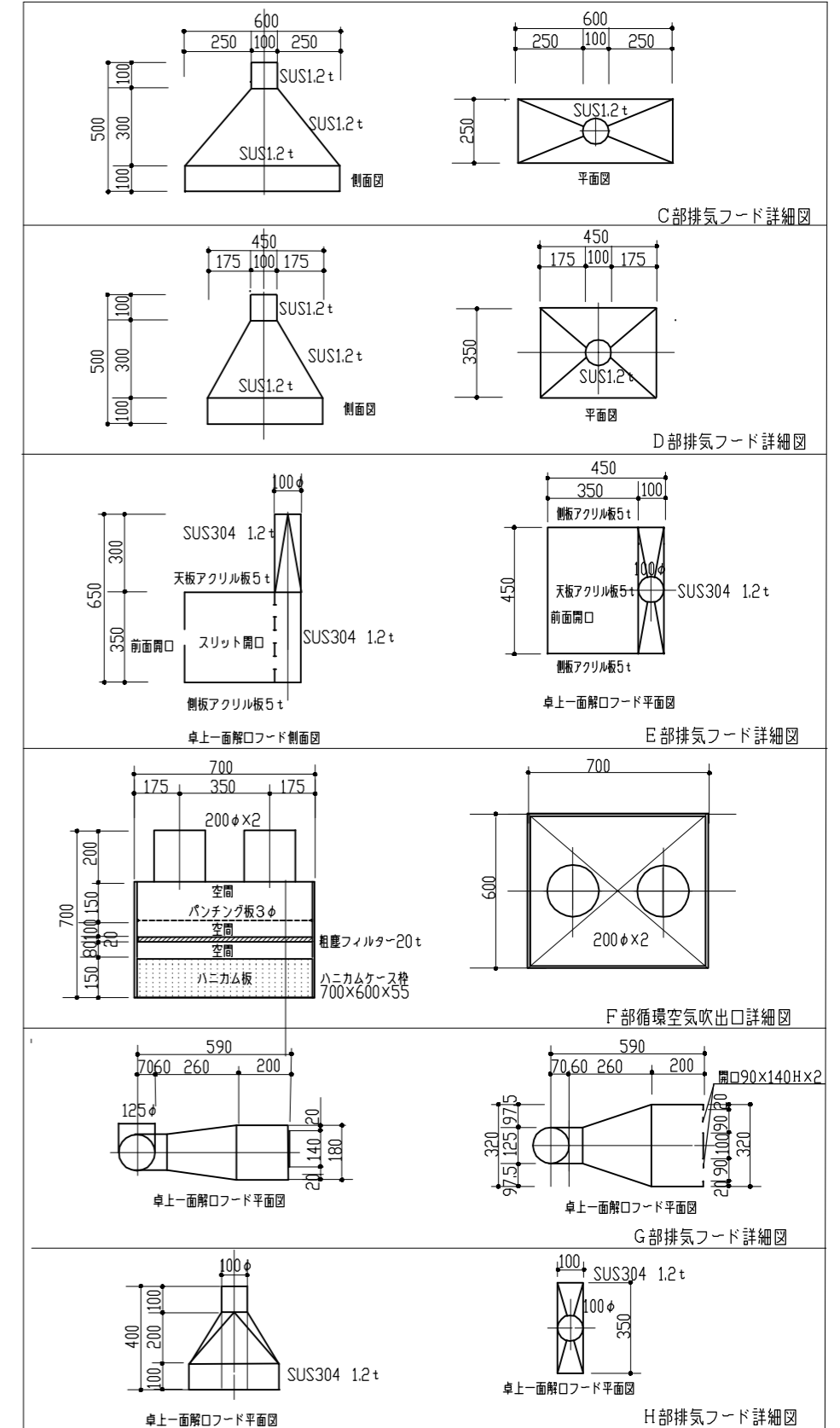
CORRECT	
2	
3	
4	
5	
6	

P. NAME 労働安全衛生研究所機器分析室改修工事設計図			
DATE H26,08,30	W. NAME 換気設備	S. NO	
CHECK	S. NAME 研究本館3階改修平面図	M-03	
DRAW	SCALE A3:1/100		



421 原子吸光分析室 空調機給気チャンパー 710×480×500 GW25mm内貼り	421 原子吸光分析室 吹出口 VHS300×150 Q=360m ³ /h	421 原子吸光分析室 吹出口 VHS300×150 Q=360m ³ /h	421 原子吸光分析室 吹出口 VHS300×150 Q=360m ³ /h	421 原子吸光分析室 吹出口 VHS300×150 Q=360m ³ /h
421 原子吸光分析室 ドアガラリ 裏側プレート取付 300×200	421 原子吸光分析室 裏側プレート取付 VHS 150×100	421 原子吸光分析室 裏側プレート取付 VHS 150×100	421 原子吸光分析室 裏側プレート取付 VHS 150×100	421 原子吸光分析室 定風量装置(CAV) 電気式 1080 m ³ /h

416 機器分析室 空調機給気チャンパー 710×480×500 GW25mm内貼り	416 機器分析室 吹出口 VHS300×150 Q=270m ³ /h	416 機器分析室 吹出口 VHS300×150 Q=270m ³ /h	416 機器分析室 吹出口 VHS300×150 Q=270m ³ /h	吹出口 VHS150×150 Q=135m ³ /h
416 機器分析室 ドアガラリ 裏側プレート取付 300×200	416 機器分析室 裏側プレート取付 VHS200×100	416 機器分析室 裏側プレート取付 VHS200×100	416 機器分析室 裏側プレート取付 VHS200×100	416 機器分析室 定風量装置(CAV) 電気式 1080 m ³ /h

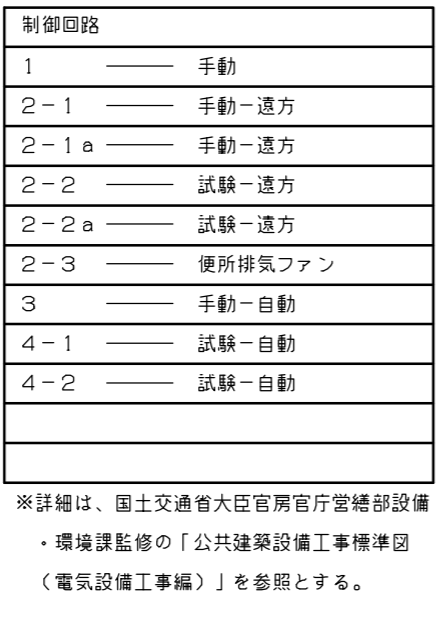
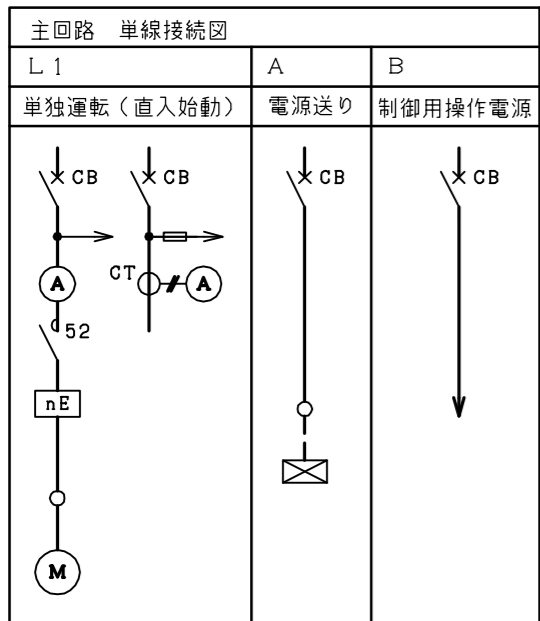


研究本館 4 階改修平面図

CORRECT
2
3
4
5
6

P. NAME 労働安全衛生研究所機器分析室改修工事設計図			
DATE H26,08,30	W. NAME 換気設備	S. NO	
CHECK	S. NAME 研究本館4階改修平面図	M-O4	
DRAW	SCALE A3: 1/100		

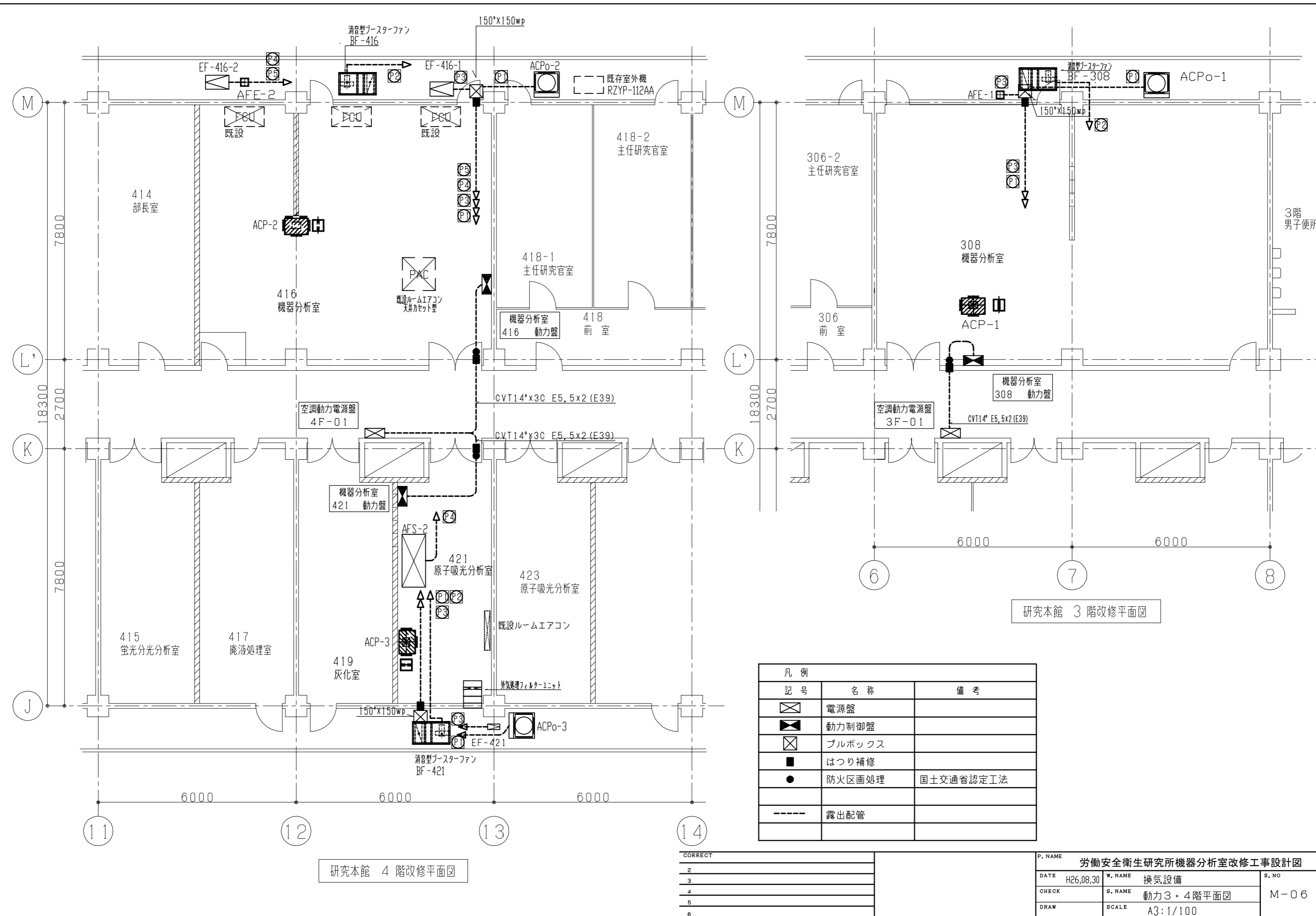
盤名	結線方式 主幹容量	負荷				制御盤							中央監視盤					二次側配線			備考								
		記号	名称	容量 (kW)	台数	保安	非常	分岐開閉器		主 回路	制御 回路	連動又は インターロック	操 作	表 示	計 測	操 作	表 示	記 録	回路 記号	配 線		保護管							
								P	A/F/A/T				状態	故障	警報		状態	故障	警報	故障	警報	計測		屋内	屋外				
機器分析室 308 動力盤 屋内壁付型 銅板製 メラミン 焼付塗装 AC 3φ3W 200V PL		ACP0-1	外気処理空調屋外機	3.65	1			E 3	50/50	A		BF-308			○	○							(P1)	CV3, 5°-4C	E51	G22	ACP-1屋内機の渡り配線：機械設備工事 連動信号回路を設けること		
		BF-308	ブースターファン	0.75	1			M 3	50/15	L1	4-1	ACP0-1	○	○	○									(P2)	CV3, 5°-4C	E25	-		
		AFE-1	排気ファン組込型 活性炭フィルタユニット	0.1	1			E 3	50/15	L1	4-1	BF-308	○	○	○									(P3)	CV3, 5°-4C	-	G22	屋内部分の配線は、P1と同じ保護管に配線する	
			制御電源					M 2	50/20	B																			
			計	4.5																									
機器分析室 416 動力盤 屋内壁付型 銅板製 メラミン 焼付塗装 AC 3φ3W 200V PL		ACP0-2	外気処理空調屋外機	3.65	1			E 3	50/50	A		BF-416			○	○							(P1)	CV3, 5°-4C	E51	G22	ACP-2屋内機の渡り配線：機械設備工事 連動信号回路を設けること		
		BF-416	ブースターファン	0.75	1			M 3	50/15	L1	4-1	ACP0-2	○	○	○									(P2)	CV3, 5°-4C	E25	-		
		EF-416-1	実験室熱排気ファン	0.4	1			E 3	50/15	L1	4-1	BF-416	○	○	○									(P3)	CV3, 5°-4C	-	G22	屋内部分の配線は、P1と同じ保護管に配線する	
		EF-416-2	実験室有機ガス排気ファン	0.2	1			E 3	50/15	L1	4-1	BF-416	○	○	○									(P4)	CV3, 5°-4C	-	G22		
			予備																										
			制御電源					M 2	50/20	B																			
	計	5.0																											
原子吸光分析室 421 動力盤 屋内壁付型 銅板製 メラミン 焼付塗装 AC 3φ3W 200V PL		ACP0-3	外気処理空調屋外機	3.65	1			E 3	50/50	A		BF-421			○	○							(P1)	CV3, 5°-4C	E51	G22	ACP-3屋内機の渡り配線：機械設備工事 連動信号回路を設けること		
		BF-421	ブースターファン	0.75	1			M 3	50/15	L1	4-1	ACP0-3	○	○	○									(P2)	CV3, 5°-4C	E25	-		
		EF-421	実験室熱排気ファン	0.4	1			E 3	50/15	L1	4-1	BF-421	○	○	○									(P3)	CV3, 5°-4C	-	G22	屋内部分の配線は、P1と同じ保護管に配線する	
		AFS-2	循環ファン組込型 活性炭フィルタユニット	1.5	1			E 3	50/30	L1	4-1	BF-421	○	○	○									(P4)	CV3, 5°-4C	E25	-		
			制御電源					M 2	50/20	B																			
			計	6.3																									
空調動力 3F-01 電源盤	屋内壁付型 銅板製 メラミン 焼付塗装 AC 3φ3W 200V PL	AC 3φ3W 200V	308動力盤へ					M 3	100/75																				
空調動力 4F-01 電源盤	屋内壁付型 銅板製 メラミン 焼付塗装 AC 3φ3W 200V PL		416 動力盤へ 421 動力盤へ					M 3	100/75																				



- 注記
- MCCB、ELCBの使用区分は動力制御盤表による。(M: MCCB、E: ELCB)
 - 連動接点、インターロック接点は必要に応じ設ける事。
電源送り空調機電源は、連動信号用の空調機運転検出器(電流検出用リレー等)を設置し連動接点を設けること。
 - 電流計(赤指針付)・電圧計は、1.5級広角型とする。
 - ELCBの特性は下記とする。
a) 定格電流50A以下のものは、高感度高速形(定格感度電流: 30mA以下, 動作時間: 0.1秒以内)とする。
b) 定格電流50Aを超えるものは、中感度高速形(定格感度電流: 500mA以下, 動作時間: 0.1秒以内)とする。
 - 表示灯は全てLEDとする。
 - 配管配線欄の保護管サイズは、ころがし及びラック配線以外の場所で適用とする。
 - 空調設備ファン類と接続するブリカはビニル被覆2種金属製可とう電線管とする。
 - 各盤ごと一括外部警報接点を設けること。

CORRECT	
2	
3	
4	
5	
6	

P. NAME 労働安全衛生研究所機器分析室改修工事設計図		
DATE H26,08,30	W. NAME 換気設備	S. NO
CHECK	S. NAME 動力制御盤負荷表	M-05
DRAW	SCALE A3: N, S	



研究本館 3階改修平面図

研究本館 4階改修平面図

凡例		
記号	名称	備考
⊠	電源盤	
⊡	動力制御盤	
⊞	プルボックス	
■	はつり補修	
●	防火区画処理	国土交通省認定工法
---	露出配管	

CORRECT	
2	
3	
4	
5	
6	

P. NAME 労働安全衛生研究所機器分析室改修工事設計図		
DATE H26,08,30	W. NAME 換気設備	S. NO
CHECK	S. NAME 動力3・4階平面図	M-06
DRAW	SCALE A3:1/100	